

## 会議の概要（議事録）

会議の名称	(番号) 1-33	令和7年度 墨田区学校給食協議会		
開催日時	令和8年2月2日(月) 午後3時30分から4時30分まで			
開催場所	墨田区役所11階 教育委員会室			
出席者数	計18人 【委員】学校給食協議会委員 14名 【事務局】給食保健担当職員 4名			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる) 非公開(傍聴できない)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	0人
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現在の状況について</li> <li>2 令和8年度における給食費について</li> <li>3 食育推進事業の取り組みについて</li> <li>4 その他</li> </ol>			
配付資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 次第</li> <li>2 学校給食協議会資料</li> </ol>			
会議概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 教育長挨拶</li> <li>3 委員紹介</li> <li>4 議長の選出 輪番制(墨田区学校給食協議会に関する要綱第4条) 今年度は「区教育研究会小学校家庭科・食育部長」富永校長(第二寺島小)</li> <li>5 議長挨拶</li> <li>6 議事</li> </ol> <p>(1)現在の状況について 教育委員会事務局より <b>事務局</b> 配付資料4ページから14ページについて、説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中ともに概ね充足率を満たしている。</li> <li>・各実績データは、摂取基準、食品構成、食材購入について提示。</li> <li>・一年間分として令和6年9月から令和7年7月を集計。</li> <li>・栄養素の充足率について、鉄は不足しがちなため文科省が一日40%を給食で給与するよう推奨しており、ハードルが高い。一日の1/3量に対して</li> </ul>			

は小中ともほぼ達成できている。

- ・食塩相当量は基準を上回っているが、ここ数年で段階的に減量できており、引き続き経年的に取り組んでいく。
- ・令和7年度の購入実績に基づく1食単価は、小学校（中学年）345円25銭、中学校414円77銭であった。

各栄養士会から報告

**舘野委員**

- ・小学区栄養士会より報告する。
- ・小麦粉・小麦製品、魚介類をはじめ様々な食品が昨年度に引き続き値上がりしたが、各校が工夫して献立を作成したことで、栄養量と食品構成の基準をほぼ満たすことができた。
- ・鉄と食塩相当量についてより工夫するため、栄養士の研究テーマを「献立における鉄分補給・減塩による健康改善と増進」として、実践的な改善案をまとめた。この成果は区全体に共有していく。
- ・食物アレルギーについて、くるみのアレルギーを持つ児童が増えている。取り扱いを会議体で話し合い、安全な給食提供に努めていきたい。

**八ツ藤委員**

- ・中学校栄養士会より報告する。
- ・栄養価に関しては、エネルギー、たんぱく質、脂質の三大栄養素は基準値を満たすことができた。また例年課題であるカルシウムは充足率90%まで上昇、鉄は4ポイント上げることができた。
- ・食塩相当量は基準値の2.5g未滿を達成できない状況が続いているが、都の平均でも3.0g。だし汁や調味料の使い方、献立の組み合わせの工夫に加え、減塩や食塩無添加の食材の積極的な活用も行っている。そのため、昨年度より1ポイント減らして2.9gとなった。
- ・運営上の工夫に加え、物価高騰に合う給食費の金額変更により、比較的順調に給食を提供することができた。果物の食べ比べなど食育への取組も積極的に行うこともできた。

**【質疑応答】**

**橋本委員**

試食会は令和6年度に再開している。ご出席された方にはスマホでアンケートを行い、回答率も良かった。栄養士の方からは塩分を減らすためにダシをきかせていることや、食べ残しを減らす工夫など話があった。

**松永委員**

給食のメニューは郷土料理や世界の料理は名前など、毎月入っている。自宅で料理をする際にも参考にしている。子どもも毎日献立表を見て、給食を楽しみにしている。親としても食べることは大切だと考えている。

**勝田委員**

当校も試食会は、PTAからのご希望もあり、2回行った。鉄など他の自治体ではどのような状況か。また今年度の当校のメニューではレバーを使ったものも出ており、鉄分を充足するための工夫がされていることも実感している。

**事務局**

東京都の実態調査結果からは、当区と同じ傾向となっている。

**館野委員**

鉄分については、充足できるように使用する食材を工夫している。

(2) 令和8年度学校給食費について

**事務局**

事務局より「令和8年度 給食費について(案)」を提示し、月額で小学校・低学年5,747円、中学年6,307円、高学年6,944円、中学校7,398円、中学校夜間7,593円で提案する。

令和8年度の学校給食費については、事務局案のとおり了承された。

(3) 食育推進事業の取り組みについて

**事務局**

今年度の取組をご報告する。国が掲げている食育に関する計画では、学校における食育の推進として「学校給食の地場産物利用促進へ連携・協働」が示されている。東京都産の農水産物を活用する取り組みは、各校で工夫されながら進められており、墨田区でも浸透している。今年度はこれに加え、有機農産物の使用をお願いした。調理の面では形や大きさが揃っていないことで、洗浄や皮剥き作業に時間がかかったということだった。特別栽培までの規格であれば、そのような特徴がなく、実施がしやすいという意見もあった。なお、有機農産物について健康に良いというイメージが先行しがちだが、正しくは「化学肥料・農薬を原則使わず、可能な限り環境に配慮した栽培方法」である。今後利用する際には、混同しないよう、児童生徒へ伝えていく。

また、来年度予定している食育推進の取り組みとして、区の食育推進計画を主管している健康推進課から、自治体間の都市交流を通し、「学校給食を通じた食育交流事業」へつなげていくご提案をいただいている。生産者の顔が見える交流にできるよう、各校の学校栄養職員の方々と相談しながら、まずは先進的に実施していく。

**館野委員**

小学校栄養士会より報告する。区の学校給食献立・調理目標にもあるように、行事食・郷土料理のメニューを毎月取り入れている。学校行事に合わせた給食として、運動会、音楽会で連携して提供している。また「給食メモ」でメニューや使用食材等について伝えており、そこから各クラスで日直や給食委員の児童が伝えている学校もある。

1年生の給食開始時には、小学校研究協議会の家庭科・食育部で作成した資料を用いて、給食時間の準備・食べ方・片付けなどを学べる体制をとっている。ICTを活用して児童とはセレクト給食やリクエスト給食などのアンケート集約を行えるようにもしている。

**富永会長**

小学校では、家庭科・食育部の研究授業で、総合的な学習の時間に「姿・役割をかえる大豆」として食育リーダーの大輪先生にお話しいただいた。その時の状況をご紹介ください。

	<p><b>大輪委員</b></p> <p>家庭科・食育部の研究授業として行った。「健やかな心と体の育成」という研究主題で、「日本の伝統的な和食文化の継承に向けた取組」とした。身近な和食の食材として、大豆製品を挙げた。そして、実際に栽培・収穫・加工をしていく単元を計画した。授業の目標は活動を通して、栄養素や他の加工品を知り、さらに食に携わる方々に感謝の気持ちを持ちながら、好き嫌いせずにバランスよく食べ、食文化を体験することで和食文化を継承する気持ちが出てくる構成とした。</p> <p>大豆の栽培でも植えるところから調べ、また箸で上手くつかみ、加工をしてきな粉にした。子ども達は砕いたり、細かくする作業を体験することで、作る大変さを感じ、感謝する気持ちを持っていた。普段あまりきな粉は食べないけれど、とてもおいしく感じたという感想もあった。</p> <p>指導講評の中では、和食文化の定義をより明確にして伝えられると良いというご意見があった。そのため、和食を言語化して説明する学びの設定も必要だと感じている。</p> <p><b>八ツ藤委員</b></p> <p>中学校栄養士会より報告する。有機農産物を給食現場で扱う中で、形や大きさの規格がそろっていないため、下処理に時間がかかるという課題が挙げた。普段使用している食材に比べて、調理の段取りに時間がかかる場面が見られた。給食だけでなく、家庭科の調理実習や美術のデッサンなどで活用することで、実際に触れる機会となり、食に興味を持つきっかけになるとも考える。</p> <p>また、中学校で行っている食育の実践としては、小学校で積み重ねてきたものを発展させ、社会とのつながりを理解し、食への感謝の気持ちをより深く考えられる力を育むことを目指している。なお、具体的には都産食材の活用、給食室での職場体験、区の友好都市との取り組みなどを行った。</p> <p>(4) その他</p> <p><b>事務局</b></p> <p>子ども達が考える「おいしい給食」について、これまで培ってきた給食の良さを大切にしながら、今後提供していきたい給食も丁寧に検討し、皆さんや各課と相談して引き続き取り組んでいく。</p> <p>7 閉会</p> <p>会議の概要は、以上である。</p>
所 管 課	墨田区教育委員会事務局学務課給食保健担当（内線 5 1 3 3）